

障害のある人もない人も安心して暮らせる竹原市に

vol.5 ～ 大地の恵みを活かして～

かぐやパンダ川柳

節分に
鬼と一緒に
恵方巻き

後で豆まきしようね♪
のほほん、のほほん

川柳募集中！竹原市役所（障害福祉係）の窓口やイベントで川柳の応募箱を見かけたら、ぜひご応募ください。かぐやパンダがお気に入りの作品を採用します。

ティータイム

寒さが厳しくなってきましたが、温泉やウインタースポーツなど冬ならではの楽しみもたくさんあります。インフルエンザが流行していますので、うがい・手洗いなど予防をしっかりとし、元気に冬を楽しみましょう！

人のうごき

(住民基本台帳登録者数)

| | |
|-----|----------|
| 人口 | 27,219人 |
| 男 | 12,953人 |
| 女 | 14,266人 |
| | 12,665世帯 |
| 1年前 | 27,779人 |
| 5年前 | 29,335人 |

— 1月1日現在 —

吉名地区はジャガイモの産地として有名です。ジャガイモの生産を支える赤土は、煉瓦の生産にも適しており、吉名では、明治28年（1895）から煉瓦造りが始まりました。

右の写真は、大正14年（1925）に創業した吉名煉瓦工場の第4工場の



写真提供：「ホフマン窯」芸南印刷株式会社

今でも下の写真のように、吉名に残されている八角形の美しい煙突は、全国的にも現存例が少ないホフマン窯の一部で、瀬戸内海の青い空と海を背景に、90年間の時を経て、なお、凛と

写真です。焼きあがった煉瓦を忙しく運び出す人々と空高く伸びる数多くの煙突。このような光景が吉名には広がっていたのです。

吉名の煉瓦は全国的に名を馳せ、昭和28年には6社が吉名で操業し、1か月に1窯あたり50万個の煉瓦が生産され、1窯につき50人ほど働いていました。当時を知る地域の人は、煉瓦造りに使う赤土を山から運ぶ「どろ出し」を経験したと言います。製品は、船に乗せられ、販売先に売られ、優れた強度と鮮やかな褐色を備えた吉名の煉瓦は、その高い品質からトンネルや橋脚に使われるなど、大きな信頼を得ていました。



佇んでいます。

吉名では、現在も3社の煉瓦工場が品質の良い煉瓦を造り続けています。※ホフマン窯とは、ドイツ人のホフマンが考案した煉瓦を効率的に生産する窯のことです。

市政発展のためのご意見などをお寄せください

郵便 〒725-8666（住所不要）竹原市企画政策課「市長への私の提案」係 FAX 22-0998

※市ホームページ「市長の部屋」から電子メールでも送信できます。ご意見等は「市長の部屋・掲示板」にて公表させていただく場合があります。